

特別活動・道徳 「地域の人に感謝する」

相模原市立青葉小学校

単元（題材）目標

- お世話になっているボランティアの方々や長寿会の方々とふれ合い、歌【手話】やカードのプレゼントをして、日頃の感謝の気持ちを表す
- 福祉委員会の児童を中心に、「地域に感謝する会」を計画し、主体的に合唱【手話】やカードづくりに取り組む
- 各学年の「道徳の時間」の学習を通して、地域の方々に、尊敬や感謝の気持ちをもつ

（１）実施時期

2月上旬～下旬

（２）対象（学年等・人数）

- ・全校児童 372名
（福祉委員会児童12人、代表委員8人）
- ・教員20名
- ・地域のボランティア【防犯ボランティア、自治会、長寿会、読み聞かせボランティア等】



（３）指導者（教諭・外部講師等）

福祉委員会担当教諭（2名）、福祉委員会児童（12名）

（４）実施内容

- ①「地域に感謝する会」の活動計画を作成する（福祉委員会）
- ②歌の選曲【365日の紙飛行機】と手話の練習（福祉委員会）、ビデオ収録
 - ・福祉委員が朝休みに各教室を回り、歌と手話の伝達指導をする。
 - ・2月の歌として全校で取り組んで歌う【手話ビデオ放送】
- ③各学年に応じた資料を使って、「尊敬」「感謝」の学習を行う【道徳の時間①】
- ④ありがとうカードの作成
- ⑤地域の方々をご招待し、「地域に感謝する会」を実施する

（５）成果

- 地域の方々も知っている曲に手話を取り入れたことで、親しみが増し、地域の方とのコミュニケーションがスムーズにとれた。
- 歌に手話を取り入れ全校で取り組んだことで、児童が手話に興味をもつようになった。
- 福祉委員会の意欲的な取組が見られ、学校生活に生かそうとする姿が見られた。

（６）その他

- インフルエンザの流行に伴い、当初予定をしていた体育館での全校合唱が実施できなかった。代表委員と福祉委員会の児童が代表として地域の方々とふれ合い、各教室からはビデオに合わせて大きな歌声が響き、地域の方々に思いを届けることができた。
- 夏季休業中に外部講師による手話体験講座を実施し、7～8人が参加した。
- 総合的な学習の時間で4年生が高齢者体験、点字、手話、車いす等の福祉体験をする。